

令和2年度 石巻市総合防災訓練実施要領

1 目的

市民一人ひとりが、『自分の命は自分で守る、みんなの命は地域で支える』という自助・共助の意識を更に強め、防災についての正しい知識と行動力が身につくことを目的として、市内一斉に総合防災訓練を実施する。

2 主催 石巻市（担当：総務部危機対策課）

3 内容

「参加者自らが行う防災対策」と「地域で行う防災対策」を明確化するため、2つのステージ（ステージ1・2）に分けて訓練を実施する。

（ステージ1）①市内一斉シェイクアウト訓練及びプラスワン訓練
②全職員を対象とした職員参集訓練（メール回答のみ）
【会場】各家庭、職場など

（ステージ2）①自主防災会、防災士等による避難所開設訓練
②職員による緊急避難場所開錠訓練及び通信訓練
③地域の自主的な災害応急対策訓練
【会場】①及び②は向陽小学校、青葉中学校、渡波中学校
③各地域での設定

4 日時 令和2年11月1日（日）

（ステージ1）午前 9時00分～午前10時00分

（ステージ2）午前10時00分～

訓練実施日について

訓練の実施日については、以前より固定化の要望が多くあり、一昨年より11月の第一日曜日に固定し、総合防災訓練としての定着化を図ることとする。

5 訓練スケジュール

9：00 市内一斉シェイクアウト訓練（訓練開始）

9：03 シェイクアウト訓練終了

プラスワン訓練開始（非常持出品の確認等）

10：00 ステージ1終了、ステージ2開始（地域による災害応急対策訓練）

11：00 ステージ2終了

6 訓練参加機関

石巻市、石巻市教育委員会、自主防災会、町内（区）会、石巻市防災士協議会

7 想定

(ステージ1) ①、②

午前9時、三陸沖を震源とする巨大地震。地震の規模はM9.0、市内でも震度6強を観測。

(ステージ2)

① 避難所開設訓練

数時間後に市内に台風接近予定。市内では新型コロナウイルス感染症がまん延しており、災害対策本部では避難所開設の決定がされている。

② 開錠訓練及び通信訓練

三陸沖を震源とする巨大地震により宮城県を含む東北地方の太平洋沿岸に大津波警報が発表されている。

③ 災害応急対策訓練

三陸沖を震源とする巨大地震により宮城県を含む東北地方の太平洋沿岸に大津波警報が発表され、市内の多くの箇所で土砂崩れも発生している。

8 広報周知

より多くの市民に訓練への参加を促すため、次の広報活動を行う。

- (1) 訓練周知チラシの配布
- (2) 市報及び市ホームページへの記載
- (3) 災害情報メール配信サービス、SNS (Facebook、Twitter) での発信
- (4) 報道機関への情報提供
- (5) 公共施設、広報掲示板へのポスター掲示
- (6) イオン、イトーヨーカ堂、ツルハ、ホームック等の災害時応援協定締結先、商工会議所等へのポスター掲示依頼

9 訓練の検証

訓練に関するアンケート調査を実施し、その結果から課題を見出し、改善方法を検討。

- ・参加動向アンケート：自主防災会及び町内会（区）単位の参加状況等に関して調査。

10 訓練の中止

訓練は小雨決行とする。ただし、災害が発生し、又は災害の発生する恐れがある場合、その他特別の事情によりやむを得ない場合は中止とする。

判断基準：警戒準備配備体制が予想される場合（最終判断：午前7時30分）

※中止の場合は防災行政無線、災害情報メール配信サービス、防災ラジオ等により午前7時50分までに広報を行う。